

---

# 給湯省エネ2025事業 (リフォーム・購入)

## ○設置する住宅と補助対象者

設置する住宅※1	補助対象者	契約	補助事業者 (補助金申請者)
既存住宅※2 (リフォーム)	工事発注者※3	工事請負契約	施工業者 (工事請負業者)
既存住宅※2 (購入)	住宅の購入者	不動産売買契約	販売事業者 (販売代理を含む)

※1 戸建、共同住宅の別を問わず

※2 建築から1年以上経過した住宅、または過去に人が居住した住宅

※3 住宅の所有者等（買取再販事業者は対象外）

## ○補助対象機器と補助金額

### ① トップランナー制度における省エネ基準を満たす機器の導入に対する補助

補助対象 機器	補助額				
	基本額	加算要件 A※	加算要件 B※	加算要件 A&B※	加算要件 C※
エコキュート	6万円/台	10万円/台	12万円/台	13万円/台	—
ハイブリッド給湯機	8万円/台	13万円/台	13万円/台	15万円/台	—
エネファーム	16万円/台	—	—	—	20万円/台

※加算要件A：昼間の余剰再エネ電気を活用でき、インターネットに接続可能な機種

加算要件B：補助要件下限の機種と比べて、5%以上CO2排出量が少ない機種、または「おひさまエコキュート」

加算要件C：ネットワークに接続可能で、停電が予想される場合に、稼働を停止しない機能を有する機種

### ② 上記機器と併せて蓄熱暖房機、または電気温水器を撤去する場合の加算

	蓄熱暖房機	電気温水器
加算額	8万円/台 (上限2台まで)	4万円/台 (①で補助を受ける台数まで)

## ○1戸当たりの補助対象設備の台数制限

設備	戸建	共同住宅等
① 高効率給湯器の設置	2台以内	1台以内
② 電気温水器の撤去※	①と同台数以内	
③ 蓄熱暖房機の撤去※	2台以内	2台以内

※ リフォーム工事で、①に伴い令和6年11月22日以降に撤去するものが対象

## ○対象となる期間及び着工日の考え方

令和6年11月22日以降に着工した補助事業が対象。着工日の定義は、住宅の種別に応じて下表の通り

設置する住宅	着工日	以降の交付申請が可能
既存住宅（リフォーム）	給湯器の設置開始日（1台目）	工事の引渡し または 共同事業者による給湯器の利用開始のいずれか早い日
既存住宅（購入）	住宅の引渡日	住宅の引渡し

## ○補助対象機器（エコキュート）

① 補助対象機器かどうかの確認と省エネ基準達成率（目標年度2025年度）を確認

	省エネ法に基づくトップランナー制度における省エネ基準達成率			おひさまエコキュート 
	105%以上	100%以上105%未満	100%未満	
	 目標年度 2025年度 省エネ基準 達成率 <b>105%</b>	 目標年度 2025年度 省エネ基準 達成率 <b>100%</b>	 目標年度： 2025年度 省エネ基準 達成率 <b>94%</b>	
補助金額	加算要件 B 該当 12万円/台	基本額 6万円/台	補助対象外	加算要件 B 該当 12万円/台

② リモコンが無線LAN対応リモコン※1かどうかを確認

メーカー	無線LAN対応リモコン	インターホンリモコン
コロナ	○	○
ダイキン	○	なし
パナソニック	○	なし
三菱電機	○(アダプター)	○
補助金加算額	+4万円※2	加算対象外

※1 必ずしもインターネットに接続する必要はない

※2 上記要件Bと合わせると補助金額は13万円/台

## ○補助対象機器（ハイブリッド給湯器）

	リンナイ ハイブリッド給湯器（エコワン）			
	160L	100L	X5(70L)	X5(70L)プラグイン
年間給湯効率	148.1%	128.1%	123.7%	120.8%
基本要件	○	○	○	○
加算要件 A※1	○	○	○	○
加算要件 B	○	○	○	○
補助金額	15万円/台			

	ノーリツ コア HYBRID		コアHYBRID S	コア HYBRID C
	140L	140L(PV機)	130L	70L
年間給湯効率	141.1%	121.4%	125.8%	116.5%
基本要件	○	○	○	○
加算要件 A※1	△	△	△	△
加算要件 B	○	○	○	○
補助金額	15万円/台(無線LAN対応高機能リモコン選択時)／13万円/台(高機能リモコン選択時)			

※1 必ずしもインターネットに接続する必要はない

---

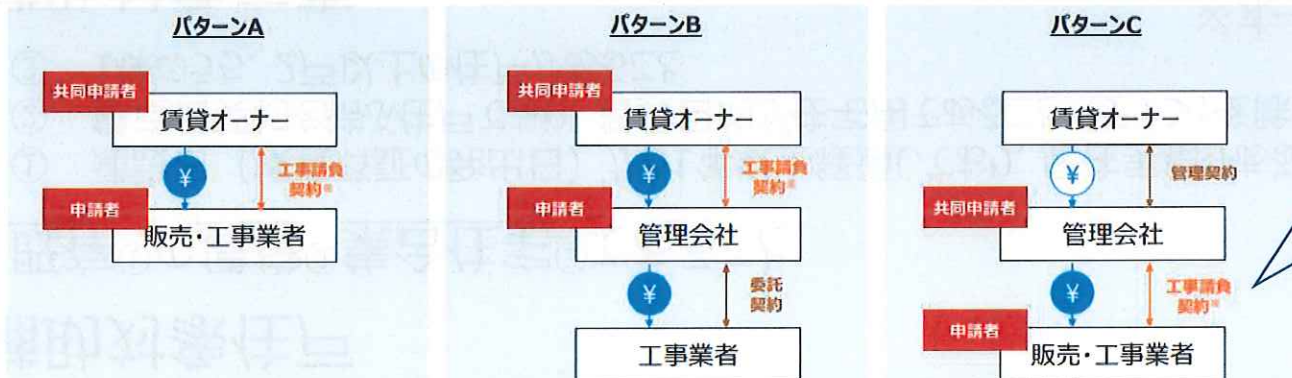
# 貸貸集合給湯省エネ2025事業

## ○補助事業者と共同事業者

	購入の場合	リースの場合
補助事業者 (補助金申請者)	工事請負契約 <b>元請</b> 事業者	リース事業者
共同事業者 (補助金の最終受給者)	工事請負契約 <b>発注</b> 者	リース契約者 (転リースの場合は転リース借主)

【購入の場合の補助事業者と共同事業者】

\* 想定パターンであり、その他パターンでも工事請負契約があれば問題ない



**どんなスキームであれ、  
工事請負契約に関わる  
二者がそれぞれ補助事業者  
と共同事業者になる！**

工事請負契約：機器の売買を含む工事請負契約のこと。ただし、建設業法が定める工事請負契約に相当する内容を含む内容であれば、売買契約書、発注書/請書、工事請負契約書でも構わない



## ○補助対象住戸

既存<sup>①</sup>の賃貸<sup>②</sup>集合住宅<sup>③</sup>であること

- ① 建設日（検査済証の発出日）から1年以上経過しており、居住実績があること
- ② 賃貸借契約を結ぶ住戸であり、賃貸目的が住宅用であること（テナントを除く）
- ③ 1棟のうち、2戸以上の住戸があること

※オーナーが居住している住戸は対象外

## ○補助対象工事

従来型給湯器<sup>①</sup>から補助対象機器<sup>②</sup>への取り換え工事

- ① エコジョーズ・エコフィールではない機器
- ② 補助対象機器の要件を満たすエコジョーズまたはエコフィール

## ○補助額

給湯専用（追い焚き機能なし）：5万円/台  
追い焚き機能あり：7万円/台

共用廊下を横断して drenレールを敷設した  
場合、**8万円/台**

浴室への dren水排水（三方弁、三本管  
等）工事の場合、**10万円/台**

## ○補助対象機器

### <エコジョーズ>

給湯単機能、ふろ給湯器：モード熱効率90%以上のもの

給湯暖房機：給湯部熱効率95%以上のもの

### <エコフィール>

油炊き温水ボイラー：連続給湯効率95%以上のもの

石油給湯器（直圧式）：モード熱効率91%以上のもの

石油給湯器（貯湯式）：モード熱効率80%以上のもの

機能とは、「給湯」、「追焚」、  
「暖房」、「オート/フルオート」のこと

※工事前機器から機能・能力（号数）を下げた機器はNG

## ○1戸当たりの台数制限

住戸当たり1台まで

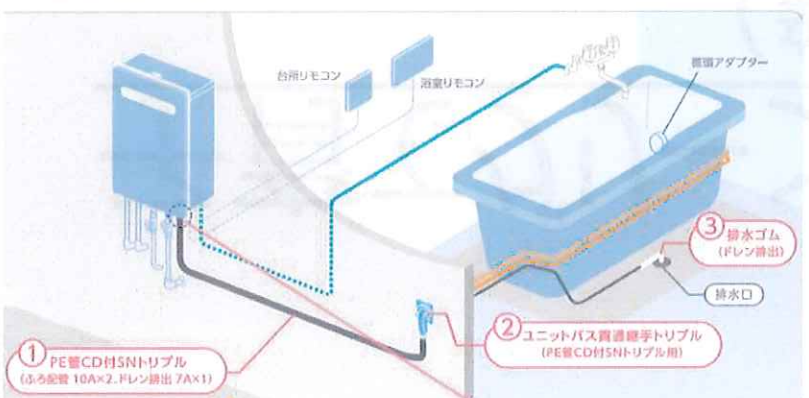
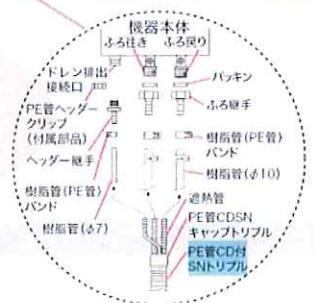
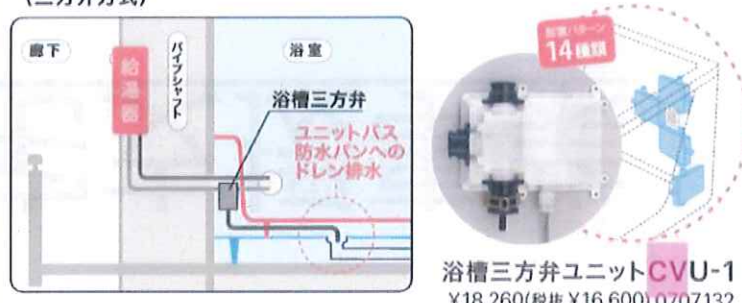
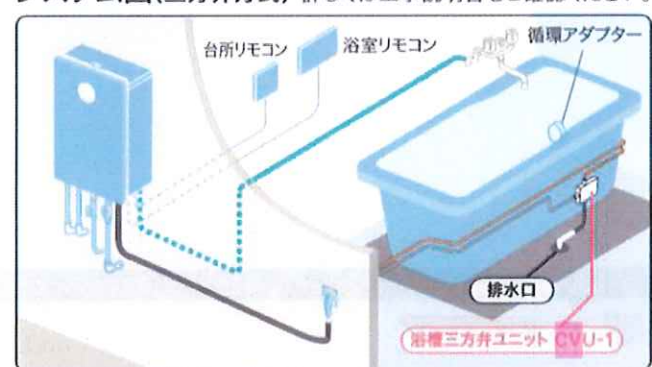
## ○1棟当たりの申請台数要件

1棟あたり1台以上（申請は建物1棟単位）

# ○エコジョーズへの改修の可否

		既存ガス給湯器	
		給湯専用	追い炊き機能あり
エコジョーズのドレン水の処理	雨水溝へ排水可	<p>ドレン排水ガイドを利用</p>	<p>ドレン排水ガイドを利用</p>
	雨水溝への排水不可	<p>対応不可</p>	<p>三方弁を利用</p>

# ○賃貸集合給湯省エネ事業の活用にはノーリツのエコジョーズがおすすめです！

システムバスも給湯器も改修する	給湯器のみ改修する
CPタイプ	CVタイプ
<p>PE管CD付SN×10M</p>  <p>① PE管CD付SNトリプル (ふろ配管 10A×2, ドレン排出 7A×1)</p> <p>② ユニットバス貫通継手トリプル (PE管CD付SNトリプル用)</p> <p>③ 排水ゴム (ドレン排出)</p> <p>排水口</p> <p>追いだし配管と一体のトリプルチューブなので<b>施工がカンタン!</b></p>  <p>機器本体 ふろ柱き ぶん戻り ドレン排出 接続口 PE管ヘッダー クリップ (付属部品) ヘッダー継手 樹脂管 (PE管) バンド 樹脂管 (φ7)</p> <p>ハンモン ふろ継手 樹脂管 (PE管) バンド 樹脂管 (φ10) 過熱管 PE管CDSN キャップトリプル PE管CD付 SNトリプル</p>	<p>ドレン排水処理方式 (三方井方式)</p>  <p>浴槽三方井 ユニットバス 防水パンへの ドレン排水</p> <p>浴槽三方井ユニットCVU-1 ¥18,260(税抜 ¥16,600) 0707132</p> <p>システム図(三方井方式) 詳しくは工事説明書をご確認ください。</p>  <p>排水口 浴槽三方井ユニット CVU-1</p>